



蒼生会
真崎 寿浩 議員

クマの異常出没に対する対策について

質問 熊の個体数が増加している中で、次期シーズンに向けての対策はどのように考えているのか。また、都市型クマ増加に伴い、防獣対策グッズ（鈴、撃退スプレー等）購入に対して助成金等を行うべきと考えるがどうか。

答弁 特定鳥獣の出没頻度が高まっている現状を踏まえ、予防対策と万が一の事象対応を一本化した対策を推進したい。

特定鳥獣管理計画の推進に伴い、市の実情に即した地域社会の安全と生態系の保全の両立を図っていく。

次期対策の柱として、家庭や地域から餌となり得る資源を減らすことを最優先に、市民の皆さまから管理いただくよう、関連機関と協力して周知していく。

都市型クマの出没が増加する状況ではあるが、現時点においては、防獣対策グッズの購入を市が助成する考えはないが、今後の情勢や他自治体の取り組み事例、有効性

の検証結果次第では、検討したい。

質問 捕獲用檻等の数量は十分か。追加する必要性はないか。鳥獣被害対策実施隊員等の活動について、人員の増加や報酬・手当の更なる拡充をすべきと考えるがどうか。

答弁 有害捕獲で使用の箱わなは、現在39基を猟友会へ貸与している。年次計画により、今後も追加する予定でいる。3地区で103名の方に活動していただいているが、実施隊員の人員増加を目指し、仙北市広報等で周知していく。報酬や手当等の拡充については、令和8年度当初予算に盛り込む予定で、今後具体的に検討していく。



現在39基保有のクマ捕獲用の箱わな
来年度は10基増設予定

【その他の質問】

◆非常時の情報伝達方法の見直しについて（防災無線復活等）



新成せんぼく
小田島広仁 議員

仙北市立病院について

質問 「仙北市立病院の経営・医療提供状況について分析する」というレポートはどのような存在か。また、その中に「角館総合病院の経営改善への提案として健康診断事業の拡充」「職員を市内で受診するよう誘導すべき」との提案があるが、職員の市立病院での人間ドッグ受診者数と対応について伺う。

答弁 レポートは病院事業の経営改革、財政健全化を検討する上で貴重な資料である。職員の人間ドッグ受診者は286人、角館総合病院での受診者5名、田沢湖病院での受診者3名、合計8名である。一人でも多くの職員から市立病院で受診してもらう取組が必要であり、周知、PRについて検討する。

防災無線の復活について

質問 防災無線が廃止され不便になったとの声が多い。復活ができないか。また、戸別受信機の在庫状況はどうなっているのか。

答弁 防災無線は議会の議決を経て廃止した経緯があるので、再び運用することは検討していない。戸別受信機は約500台を配布し、約500台残っている。



貸与条件が緩和されている
新型の戸別受信機

質問 不便になったとお話の中でチャイム等を復活して欲しいとの声が多い。戸別受信機は外でも使えるので、チャイム等を流せないか。また、在庫があるので、商店、企業等で必要とする方々に配布してはどうか。

答弁（危機管理監）チャイム等を流すことは技術的に可能である。需要や「うるさい」等の苦情がないかを含め検討する。また、追加申込を実施中なので、年明けに残数を勘案し、幅広く貸与させていただきたいと思う。

【その他の質問】

◆クマ等の鳥獣対策について
◆幸福度日本一に近づくために



澤田 雅亮 議員

病児保育の進捗状況について

【質問】 具体的なスケジュールは。

【答弁】 病児保育所は令和9年度の開設を目標に、令和8年度に申請、令和9年度に改修・用途変更を行う予定である。

防災無線について

【質問】 防災無線を再設置することは可能か。

【答弁】 防災無線の復活にはデジタル化が必要で、少なくとも21億円以上の費用が見込まれ、現実的な財源確保は困難である。

猟友会とクマ対策のこれからについて

【質問】 緊急銃猟を実施する際、現場を支える猟友会をどう守り、どう支援していくのか。

【答弁】 市は、猟友会を中核とした体制を維持しつつ、緊急銃猟への対応強化と担い手支援のあり方を今後検討していく方針である。

【質問】 通学路の安全確保をどう考えているか。

【答弁】 (教育長) 通学路点検にクマ

対策の視点を新たに加え、関係機関と連携しながら見直し改善と安全確保を強化していく。

移住・定住と地域おこし協力隊について

【質問】 移住施策の実績評価、空き家バンクの情報不足、協力隊の役割明確化・副業容認・募集枠拡大について市の考えは。

【答弁】 移住体験の強化を入口に、空き家活用と協力体制を連動させ、定住に繋げていく方針である。

今後のまちづくりと長期滞在型観光への取り組みについて

【質問】 クマ出没による夜間経済への影響を踏まえ、提灯による明かりの演出を活用した低コストなまちづくりと、その効果・予算・市の考えを問う。

【答弁】 夜間経済への影響は国の対策を活用しつつ、提灯によるまちづくりは商業者主導・市後援の形で慎重に検討していく。

長期滞在型観光への転換

【質問】 台湾青年団の受け入れを契機に、地域資源を生かした長期滞在型観光の体制整備と商品造成を進めるが、現時点で新たな補助制度は考えていない。

【答弁】 台湾青年団の受け入れを契機に、地域資源を生かした長期滞在型観光の体制整備と商品造成を進めるが、現時点で新たな補助制度は考えていない。

【答弁】 (教育長) 市単独での助成には慎重な財政検討が必要だが、今後、国の動向を見据えて実現に向けて検討したい。



日本共産党 平岡 裕子 議員

学校給食費無償化について

【質問】 国では小学校給食費基準額を月額4,700円としているが、本市では月額いくらか。

【答弁】 (教育長) 一食当たり単価325円としている。保護者負担を283円に据え置いて、値上げ分42円を市が負担軽減無償化としている。月額約5,146円である。

親の負担を求めず、無償化とする予算措置ができるか。

【答弁】 国が小学校の給食費を無償化していく方針を出したので、もし4,700円を頭打ちとすれば、一部負担になるので無償化という表現には当たらない。国の指針、ルールが示されていないので国の動向を見ていく。

国では、公立小学校に続いて、公立中学校給食費も無償化にするとしているが、本市では、小学校と同時に実施できないか。

【答弁】 (教育長) 市単独での助成には慎重な財政検討が必要だが、今後、国の動向を見据えて実現に向けて検討したい。

国保基金を活用して国保税の負担軽減を

【質問】 厚労省では、令和9年4月から、均等割税の半額を国が1/2、県・市が1/4の助成を一年生から18歳まで拡大するとしている。対象人数と税負担額を伺う。

【答弁】 10月末現在、一年生から18歳までの被保険者は146人となり現行2万7千円なので軽減1/2になると197万1千円が軽減される見込みである。

基金を活用して、すぐにも一年生から18歳までの被保険者の均等割税1/2を負担軽減できないか。

【答弁】 (市民福祉部長) 現時点では想定していない。対象年齢拡大について関係機関を通じて国に要望していく。

【その他の質問】

◆インターナショナルスクール誘致事業について

◆助成制度の見直し・再創設について(住宅リフォームはりきゅうマッソージ・加齢性難聴者補聴器購入助成)

◆市管理地維持について



田口 寿宜 議員

ハラスメント対策について

質問 ハラスメント対策条例の制定に向けての動きはどのようなになっているのか。

答弁 現在の状況は、条例案を事務レベルで検討し、草案が出来上がっている。今後、精査を行い、次期定例議会に提案するべく準備を進めている。尚、条例案には職員のみならず、市長を含む特別職員も対象とした条例案を検討している。

学校適正配置について

質問 中学校の統合について、生保内地区の方から不安な声が聞かれ、より丁寧な説明を重ねていくようである。小学校は残るが、中学校一つが無くなる事により、地域の衰退を危惧する方々が多いように感じる。この不安を解消し、理解をいただく上で必要な事は、当局と保護者・地域住民が対話を重ねながら地域のビジョンを創り、そこに向かって協働で歩んでいく事であると考える。まちづくりと連動している事を鑑み、こ

のような方向で進むべきと考えるが、所見を伺う。

答弁 (教育長) 生保内地区の保護者や地域住民の中には、統合によって様々な教育効果に期待を寄せる意見がある一方で、中学校が無くなれば子どもを育てやすい環境が後退し、地域の衰退に繋がっていくのではないかと不安視する意見も寄せられている。教育委員会としては、そうした市民の意見をしっかりと受け止め、市当局と連携し、学校適正配置を進めていきたいと考えている。

ただ、一つ伝えたいのは、教育委員会であるので、まずは子どもファーストで考えていかなければいけないと考えている。明日の未来を築くためには、やはり、子どもへの幸せがなければ築く事が出来ないとと思う。その部分も踏まえながら丁寧に住民、保護者と意見交換会をしていきたいと考えている。

【その他の質問】

- ◆病院事業経営健全化計画策定事業について
- ◆防災無線について



新成せんぼく
西宮 三春 議員

多様な働き方の推進について

質問 ※スポットワーク自治体協定締結に期待する課題解決について伺う。

答弁 観光繁忙期・農繁期の人手不足を柔軟に補えること、学生・主婦等の就労機会の拡大、事業者の採用コスト削減が考えられる。

質問 スポットワーク導入企業に対する支援について伺う。

答弁 市内事業者向けの登録説明会の開催が見込まれており、応募しやすい情報提供ができるよう支援したい。

クマ等への安全対策に向けた支援策について

質問 子どもたちの遊び場確保について伺う。

答弁 クマの出没状況や今年度の施設開放の利用状況を踏まえて検討し、子どもたちが安心して施設を利用する方のニーズに応えることができるように進めていく。

質問 安心して学校で待機できる環境整備と、送迎増加による保護者の収入減等への調査や支援策に

ついて伺う。

答弁 各地区の学校安全ボランティアと連携し、学校・家庭・地域が一体となった見守り体制を継続し、保護者・教職員の負担軽減に努める。保護者へアンケートを実施し、来年度以降の通学支援策を検討する。

質問 西明寺栗・雲然柿の守り方について伺う。

答弁 鳥獣被害対策実施隊など関係機関の力を借りながら、安全かつ迅速な対応に努める。



■クマ出没でも子どもたちが安心して遊べるように

用語解説

※スポットワーク：数時間・数日単位で単発・短期で働く働き方

【その他の質問】

- ◆戸別受信機の普及について
- ◆さんすうボックス学校備品化について
- ◆水循環型シャワーについて



蒼生会
高橋 輝彦 議員

田口市政二期目の

取り組みは！

質問 再選後に「人口が減っても市民が幸せに暮らせるまちづくりを進める。」との決意に共感した。方法で支障はないと考えている。

質問 再選後に「人口が減っても市民が幸せに暮らせるまちづくりを進める。」との決意に共感した。方法で支障はないと考えている。

質問 再選後に「人口が減っても市民が幸せに暮らせるまちづくりを進める。」との決意に共感した。方法で支障はないと考えている。

質問 再選後に「人口が減っても市民が幸せに暮らせるまちづくりを進める。」との決意に共感した。方法で支障はないと考えている。

質問 再選後に「人口が減っても市民が幸せに暮らせるまちづくりを進める。」との決意に共感した。方法で支障はないと考えている。

行政DXのさらなる活用を

質問 職員の業務効率化と市民の利便性向上のため、公共施設の予約システムと罹災証明書のデジタル化に取り組んではどうか。

質問 職員の業務効率化と市民の利便性向上のため、公共施設の予約システムと罹災証明書のデジタル化に取り組んではどうか。

質問 職員の業務効率化と市民の利便性向上のため、公共施設の予約システムと罹災証明書のデジタル化に取り組んではどうか。

質問 職員の業務効率化と市民の利便性向上のため、公共施設の予約システムと罹災証明書のデジタル化に取り組んではどうか。

質問 職員の業務効率化と市民の利便性向上のため、公共施設の予約システムと罹災証明書のデジタル化に取り組んではどうか。

質問 職員の業務効率化と市民の利便性向上のため、公共施設の予約システムと罹災証明書のデジタル化に取り組んではどうか。



蒼生会
武藤 義彦 議員

災害対応での課題は

質問 豪雨災害時の初動対応での問題は。

質問 豪雨災害時の初動対応での問題は。

質問 豪雨災害時の初動対応での問題は。

質問 豪雨災害時の初動対応での問題は。

質問 豪雨災害時の初動対応での問題は。

質問 災害対応等には全庁体制で取り組むべきではないか。



■8月の豪雨災害から復旧が進む紙風船館

【その他の質問】

◆クマ対策について

◆空き家対策について